

慈恩寺中だより

学校教育目標「自主自立をめざす生徒」 キーワード「努力夢現」「挑戦と煌」

慈恩寺中のいいところは？

校長 高波 國夫

1学期が終わるにあたり、生徒の皆さんに「慈恩寺中のいいところは？」と聞いてみました。すると、●●さんは「みんな仲良くしていて、あいさつも返してくれるので、気持ちがいいです。」●●さんは「あいさつができることです。」●●さんは「先輩、後輩、みんな仲がいいところです。部活や授業の取り組む姿勢がいい。」●●さんは「みんな元気がいい。先生とのコミュニケーションが多いところです。」●●さんは「生徒全員仲がいい。あいさつの声の大きいところです。」●●さんは「みんな明るく元気で、年の差が関係なく仲がいいです。」●●さんは「全員、男女ともに仲が良く、行事ごとに全員で心を一つに取り組めることです。」●●さん「みんな仲がいい。先輩と後輩の距離が近いです。」●●さんは「いじめがないこと、給食が美味しいこと、体育が楽しいことです。」●●さんは「自然が豊かで、みんな仲がいいところです。」●●さんは「生徒一人ひとりが思いやりをもって、困っている人がいたら助け合っている。」●●さんは「みんな仲良く助け合っているところです。」●●さんは「全学年仲がいいことと、先生方が生徒に思いやりをもって接してくれることです。」●●さんは「元気いっぱい思いやりのあるところです。」●●さんは「グれる生徒がいないことです。みんな優しいです。」●●さん「あいさつがいっぱいあることと、先生たちがいっぱい話してくれて優しいことです。」●●さんは「給食が美味しいことと平和なことです。」と教えてくれました。みんなでつくってきた、過ごしてきた「慈恩寺中、いいなあ～」と思います。

この後、39日間の夏休みになりますが、「努力夢現」を合言葉に、一人ひとりどんどん成長していきましょう。

1学期間に推薦された煌賞を紹介します。

☆あなたの小さな行動が、周りの人たちを大きく助けてくれます。

プール清掃を学校みんなのために頑張ってくれました。

大宮駅で、愛宕駅前の行き方が分からない外国人を助けていました。

集合写真の時に入る場所がない時「ここに入りな」と言って一緒の場所で撮ってくれました。

自分が困っている時に、ペンや消しゴム、紙などを貸してくれるなど、色々助けてくれました。

体育祭の日の給食だけでなく、いつも美味しい子供の目線に立った給食を提供してくれ、提供時

間の変更にも柔軟に対応していただき、ありがとうございます。

慈中生が参加している地域のボランティアを紹介します。

青少年育成協議会主催「みんなでもほり体験ボランティア」42名、北部公民館主催「サマースクールほくぶ」中学生ボランティア7名、鹿室南集会所主催「夏休み講座中学生ボランティア」8名、慈恩寺小主催「慈小っ子チャレンジスクール安全管理委員」6名、合計63名です。2学期は避難所運営訓練ボランティア、青少年育成協議会主催「もちつきボランティア」などを予定しています。ふるってご応募ください。